

日本鳥学会2023年度大会での山階鳥類研究所関係者の発表・話題提供・コメンテーター

【副所長・研究員・専門員等が参加している発表】

種類	日付	番号	タイトル	発表者	うち山階鳥研	実習内容
鳥の学校	15日		ガンカモ類研究のための捕獲技術実習	澤祐介	澤祐介	ガンカモ類のいろいろな捕獲方法の紹介とくくりわなの作成および発信機の装着実習

種類	日付	番号	タイトル	発表者(○:演者)	うち山階鳥研(○:演者)
口頭発表	16日	B02	ベニアジサシの繁殖および越冬状況	○尾崎清明ほか	○尾崎清明・富田直樹
	16日	B17	GPS発信器追跡によるカリガネの渡りと環境利用	○澤祐介ほか	○澤祐介・仲村昇
	16日	B18	標識調査から得られたアマミヤマシギの生存期間と島内での移動の記録	鳥飼久裕ほか	○水田拓
	17日	B24	鳥類標本の学術的価値を維持した羽試料の採集方法の検討	○岩見恭子ほか	○岩見恭子・富田直樹
	17日	B25	鳥島のアホウドリは未記載新種か？	○山崎剛史ほか	○山崎剛史
	17日	B28	飛べないクイナが非対称の風切羽を持ち続ける理由	○山崎優佑ほか	山崎剛史
	17日	A30	北海道における固定式視線誘導柱への鳥類の営巣	○三上修ほか	森本元
ポスター発表	17日	P010	オオアカハラは遺伝的・形態的に分化した「亜種」なのか？	○田中智ほか	仲村昇
	16日	P037	鳥島初寝崎のアホウドリ新営巣地の安定と個体群の増大	○富田直樹ほか	○富田直樹・澤祐介・佐藤文男
	17日	P054	日本で繁殖するチドリ類2種のミトコンドリアDNAを用いた遺伝的多様性と	○中嶋瑞美ほか	森本元
	16日	P059	東京都区部における巣立ち後間もないと思われるミゾゴイ幼鳥の観察例	○平岡考ほか	○平岡考
	17日	P070	系統・形質アプローチから解明する山岳の鳥類群集の群集集合	○飯島大智ほか	森本元
	16日	P087	ビショップ博物館所蔵の書簡からわかった80年前の標本交換	○小林さやか	○小林さやか
	17日	P104	水鳥の移動空間として重要な河川の特徴 - 景観・局所スケールでの評価	○竹重志織ほか	澤祐介
	16日	P109	大正・昭和期における籠抜け及び意図的放鳥による飼鳥の野外への逸出	○西田澄子ほか	鶴見みや古

種類	日付	番号	タイトル	主催者	うち山階鳥研
自由集会	15日	W03	みんなで作ろう！目録8版（その4）	西海功ほか	山崎剛史・齋藤武馬・平岡考
	16日	W08	第5回標本集会 江戸時代の鳥を知ろう	小林さやかほか	小林さやか・岩見恭子
	16日	W09	小鳥の渡り経路を描く：渡り追跡研究の全国展開を目指して	青木大輔ほか	澤祐介

(注) 山階鳥研から特任/客員研究員のみが参加している研究のうち、それぞれの主たる所属の組織で行った研究をその所属で発表するものは除外しました。